

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月18日 (2018.10.18)

【公表番号】特表2017-530553(P2017-530553A)

【公表日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-513033(P2017-513033)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/048 (2014.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

B 2 9 C 70/70 (2006.01)

B 2 9 C 70/48 (2006.01)

B 2 9 K 63/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 31/04 5 6 0

C 0 8 J 5/24 C F C

B 2 9 C 70/70

B 2 9 C 70/48

B 2 9 K 63:00

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月7日 (2018.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維強化熱硬化性複合材料に埋め込まれた 1 つまたは複数の太陽電池セルを含む太陽電池モジュールを製造するための方法であって、前記太陽電池セルが照射される前面と、背面とを有し、前記方法が、

1 つまたは複数の太陽電池セルを提供し、

ガラス繊維を前記太陽電池セルの前面に提供し、前記ガラス繊維は共有結合したアミノシランカップリング剤を有しており

実質的に透明な未硬化エポキシ樹脂を、前記太陽電池セルの前面上に提供し、

前記ガラス繊維と前記エポキシ樹脂のそれぞれの屈折率が、互いに対して 2 % 未満の違いとなるように、前記未硬化エポキシ樹脂と前記アミノシランカップリング剤との間の化学反応を発生させる、

ことを含む、方法。

【請求項 2】

前記太陽電池セルの前記前面で、前記繊維がガラス繊維織物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記太陽電池セルの前記前面について、前記エポキシ樹脂がビスフェノール A およびビスフェノール F のジグリシジルエーテルから構成される、請求項 1 または 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

前記太陽電池セルの前記前面について、前記エポキシ樹脂が脂肪族または脂環式エポキ

シ樹脂である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記太陽電池セルの前記前面用の前記繊維強化複合材料が、前記太陽電池セルの前記背面用の前記繊維強化複合材料とは異なる、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記前面上の前記繊維が前記背面上の前記繊維とは異なり、前記樹脂が同じである、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記太陽電池セルの前記前面上の前記樹脂が、UV 耐性のための添加剤を含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

前記太陽電池セルが、結晶シリコン太陽電池セル、薄膜太陽電池セル、有機太陽電池セルおよび多機能太陽電池セルまたはその他のうちの 1 つ以上である、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の方法。